

中野市少年育成センター運営協議会

H20/ 2/ 7(木) 13:30~

1 県内における少年非行の概要

(1) 非行少年等の総数

区 分	平成19年	平成18年	増減(率)	
刑 犯	犯罪少年	1, 339	1, 738	- 399 (- 23.0%)
	触法少年	230	211	+ 19 (+ 9.0%)
	小 計	1, 569	1, 949	- 380 (- 19.5%)
特別法犯	99	85	+ 14 (+ 16.5%)	
合 計	1, 668	2, 034	- 366 (- 18.0%)	

(2) 特徴的傾向

- 刑法犯の犯罪少年は大幅に減少(-399人)しているが、触法少年は4年ぶりに増加(+19人)
- 全刑法犯検挙人員(4,867人)のうち28%が犯罪少年
- 刑法犯犯罪少年のうち69%が初発型非行
- 刑法犯犯罪少年は、昭和32年(1,231人)以来となる少ない数値で、昭和59年(3,035人)の半分以下

2 中野警察署管内の状況

(1) 非行少年等の総数

()はいずれも女子で内数

区 分	平成19年	平成18年	増減(率)	
刑 犯	犯罪少年	31 (1)	34 (8)	- 3 (- 8.8%)
	触法少年	2	5 (1)	- 3 (- 60.0%)
	小 計	33 (1)	39 (9)	- 6 (- 15.4%)
特別法犯	0	0	± 0	
合 計	33 (1)	39 (9)	- 6 (- 15.4%)	

(2) 刑法犯少年の学識・罪種別

罪種	学 識				有職少年	無職少年	合 計	前年同期
	小学生	中学生	高校生	その他				
粗 暴 犯					2		2	2
窃 盗 犯	1	3	7		6	1	18	27(6)
	万引き	1		4	6		11	7(3)
	自動車盗							14(3)
	自転車盗		1	2			3	4
その他		2	1			1	4	2
知 能 犯								
その他刑法犯			12(1)	1			13(1)	10(3)
合 計	1	3	19(1)	1	8	1	33(1)	
前年同期	4(1)	9(1)	16(4)		9(3)	2		39(9)